



# 東 侯 野 12月号

東侯野小学校 学校だより 平成27年11月30日

創立30周年イベントを終えて・・・

校長 村田 幹男

11月6日(金)には、子どもたちによる集会「30周年おめでとう会」、そして、翌日の7日(土)には、「創立30周年記念式典・祝賀会」と、本校の創立30周年を祝うイベントを無事終えることができました。

「おめでとう会」では、小学校と特別支援学校両校の子どもたちが一緒にお祝いすることができました。また、どの学年もアイデアにあふれた出し物を披露してくれました。

「式典・祝賀会」では、本校を支え見守ってくださっている多くの皆様にご臨席をいただき、温かいお言葉を賜りました。そして、「チーム響和」「東侯野お囃子連」の皆様には、すてきなアトラクションで会を盛り上げていただきました。この会の準備運営、また、記念リーフレットの作成等にあたっては、両校の昨年度・今年度のPTA役員の皆様が何回も会合をもち、綿密な計画を立ててすすめてくださいました。

この2日間のイベントを終えて、子どもたちのすばらしさとともに、学校が多くの方々に支えられていることを改めて実感した次第です。

「おめでとう会」の一週間後には、パラリンピックメダリストの大日方邦子さんが、子どもたちに講演をしてくださいました。さすがに世界一になった方のお話には、説得力があります。下肢を事故で失っても、できないときにどうやったらできるのか考えて練習したこと、そして、人一倍練習してクラスで一番速く泳げるようになったことなど、子どもたちに勇気と希望を与える実体験を熱く語ってくださいました。

大日方さんが大事にしている言葉は、パラリンピックの創始者ルードヴィヒ・グットマンさんの「失ったものを数えるな。残されたものを最大限に活かせ。」だそうです。とても意味深い言葉です。心の向きを変えるだけでも自分の生活が変わって行けそうです。